

*Creating Life of Your Dreams*

～ 半歩先の技術で人々の生活を豊かに ～



# 2019年8月期 決算説明資料



株式会社ヴィッツ（東証マザーズ 4440）

2019年10月



# 株式会社 ヴィッツ

東証マザーズ(4440)



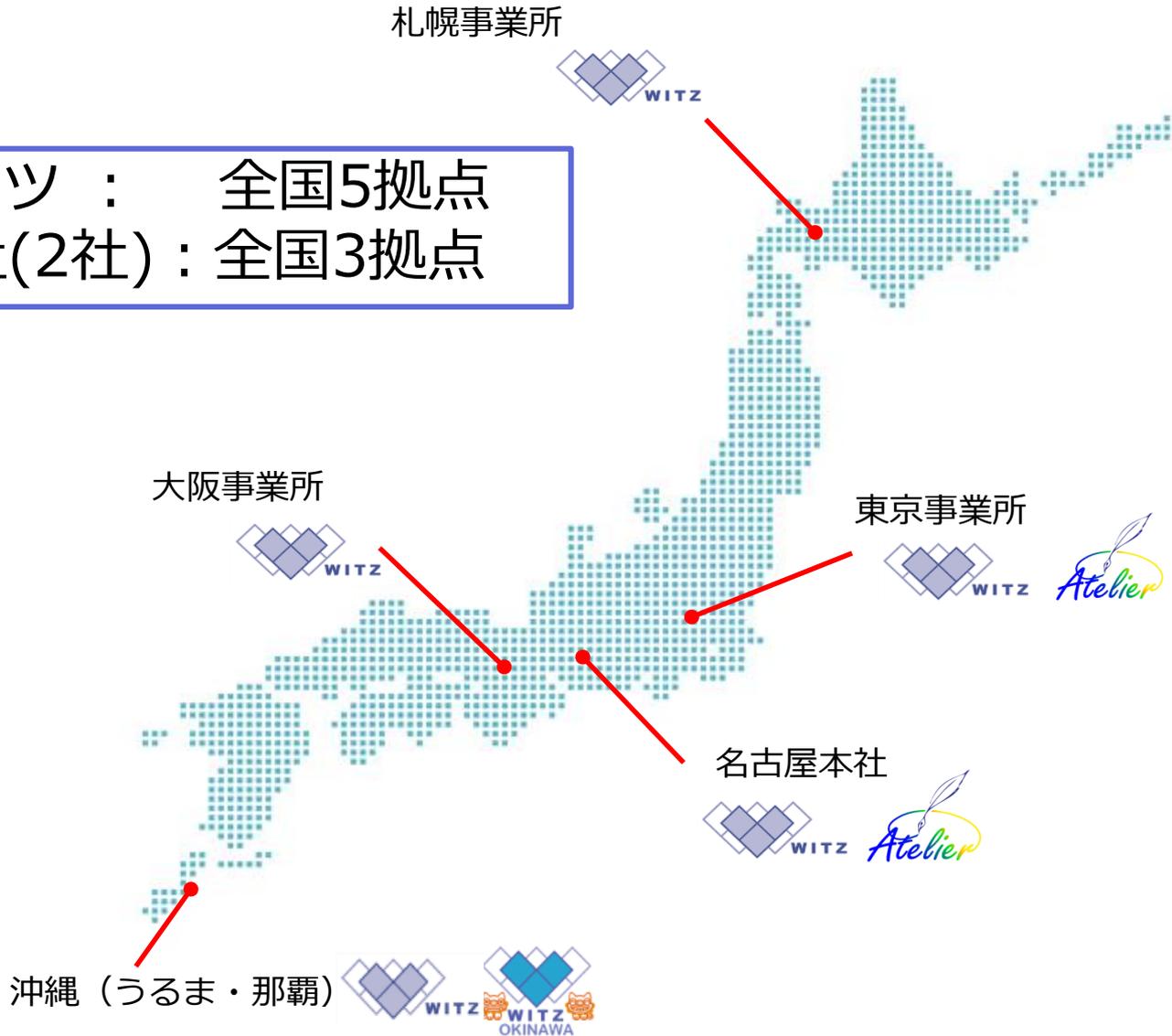
設立: 1997年6月  
資本金: 5億8,378万円  
代表: 代表取締役社長 服部博行

所在地: 愛知県名古屋市

従業員: 連結166名(2019.8.31現在)

子会社: 株式会社アトリエ  
株式会社ヴィッツ沖縄

ヴィッツ : 全国5拠点  
子会社(2社) : 全国3拠点



## 組込システム事業

制御ソフトウェアエンジニアリングサービス

リアルタイムオペレーティングシステム  
(RTOS) 開発、販売

自動運転技術研究と  
技術支援サービス

組込セキュリティサービス

組込セキュリティ教育

## システムズエンジニアリング事業

自動運転/先進安全向けシミュレーション  
技術による開発支援

車載制御モデル開発

車載制御シミュレーション開発

人工知能の安全活用技術の研究

## 機能安全開発事業 (Safety & Security)

コンサルティング

プロセス開発支援

安全対策用技術コンテンツ販売

ソフトウェア開発支援ツール輸入、販売

教育サービス

## その他

(株)アトリエ

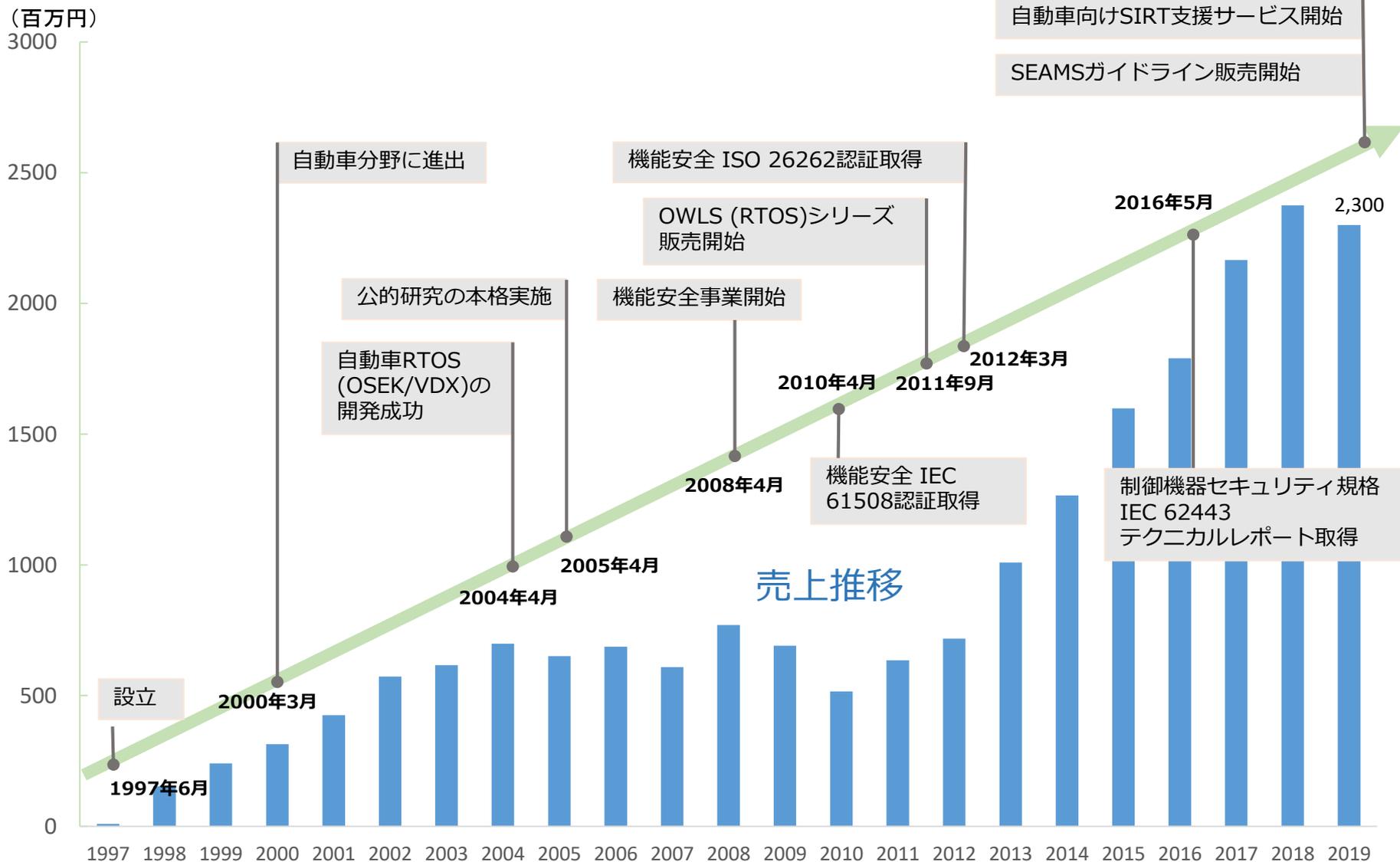
ソフトウェア開発に関する新技術及び  
規格調査

(株)ヴィッツ沖縄

組込ソフトウェア評価・開発支援

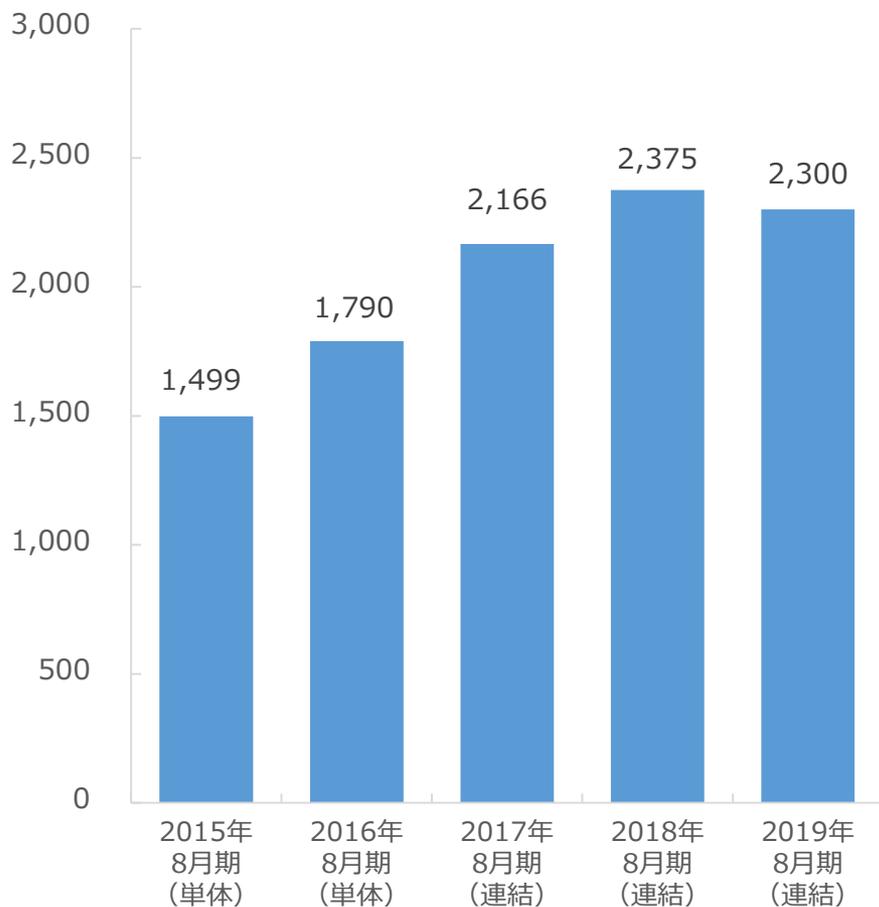
## 事業報告

## 常に技術の進化を先取りし、大きく成長



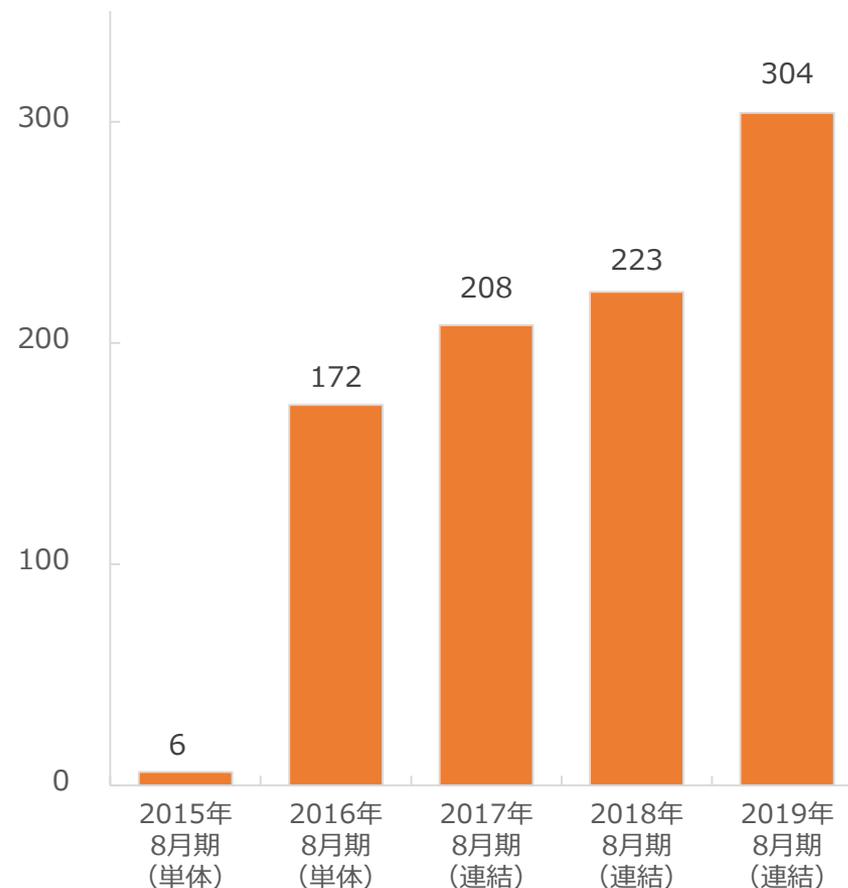
## 売上高の推移

(百万円)



## 経常利益の推移

(百万円)



※2015年8月期及び2016年8月期については「会社計算規則」(平成18年法務省令第13号)の規程に基づき算出した各数値を記載しております。  
また、当該数値については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく仰星監査法人の監査を受けておりません。

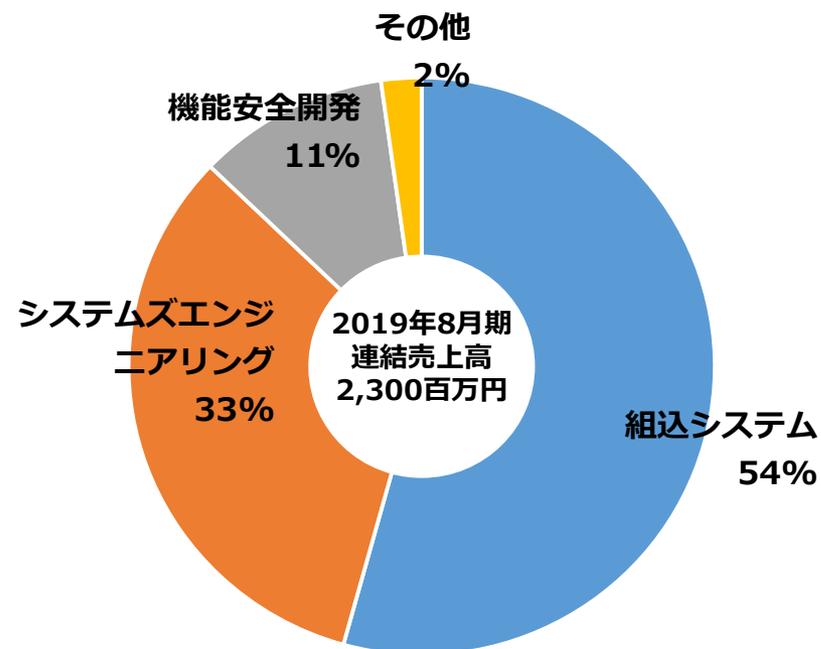
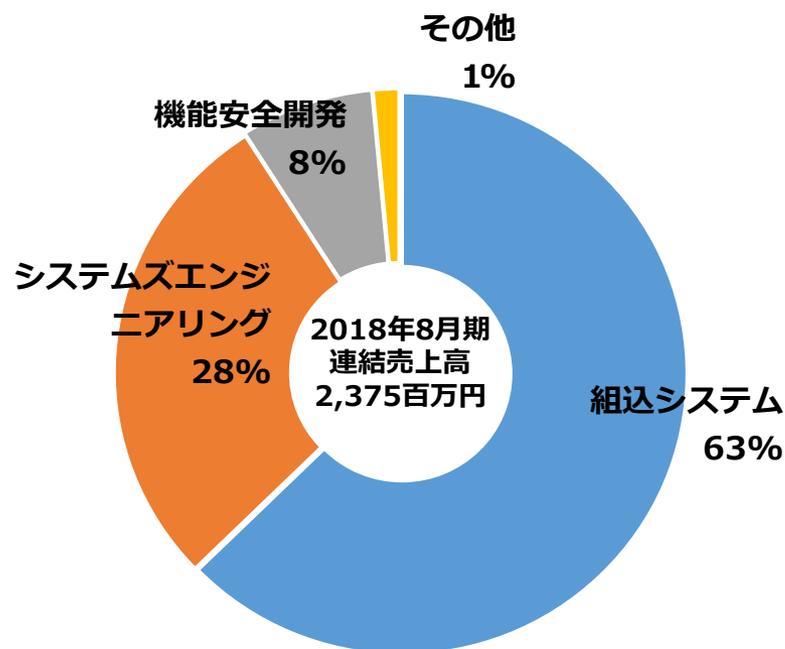
売上高につきましては、前期に発生した不採算案件への対応や第4四半期における主要顧客の開発計画変更等が影響し、前期比75百万円の減収となりました。

一方で、営業利益につきましては、外注政策の見直しや高収益事業へのシフト等により営業利益率が改善し、前期比30百万円の増益となりました。

また、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、役員退職用積立保険の整理等による営業外収益の増加、一部取締役からの役員退職慰労金の辞退による特別利益が発生したことなどにより、それぞれ前期比80百万円、95百万円の増益となっております。

単位：百万円

	2019/8期 (実績)		(ご参考) 2018/8期	
		売上比		売上比
売上高	2,300	100.0%	2,375	100.0%
営業利益	251	11.0%	221	9.3%
経常利益	304	13.2%	223	9.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	230	10.0%	135	5.7%



**組込システム**：組込ソフトウェア開発からセキュリティ支援業務へ徐々にシフト

**システムズエンジニアリング**：自動運転/先進安全向けシミュレーション技術により高収益化が進む

**機能安全開発**：Safety に加え Security コンサルティングも増加傾向

システムズエンジニアリング事業の自動運転/先進安全向けシミュレーション技術への需要が伸びております。

単位：百万円

セグメント	2019/8期	
	売上高	売上比
組込システム	1,249	54.3%
システムズエンジニアリング	755	32.9%
機能安全開発	244	10.6%
その他	51	2.2%
合計	2,300	

(ご参考) 2018/8期	2018/8期	
	売上高	売上比
	1,489	62.7%
	670	28.2%
	180	7.6%
	35	1.5%
	2,375	

主要事業は、高収益化を進めた結果、営業利益率が向上いたしました。

単位：百万円

セグメント	2018年 8月期 営業利益	営業 利益率	2019年 8月期 営業利益	営業 利益率	前期 増減率
組込システム	263	17.7%	236	18.9%	1.2%
システムズ エンジニアリング	194	29.0%	242	32.0%	3.0%
機能安全開発	65	36.4%	104	42.7%	6.3%
その他	33	25.9%	32	23.4%	▲2.5%
全社	221	9.3%	251	11.0%	1.7%

※その他セグメントにつきましては、連結相殺消去仕訳考慮前の売上高及び営業利益により営業利益率を算出しております。

1

自動運転/先進安全向けシミュレーション技術が好調

2

Safety & Securityコンサル・安全対策用技術コンテンツ販売  
による高収益化

3

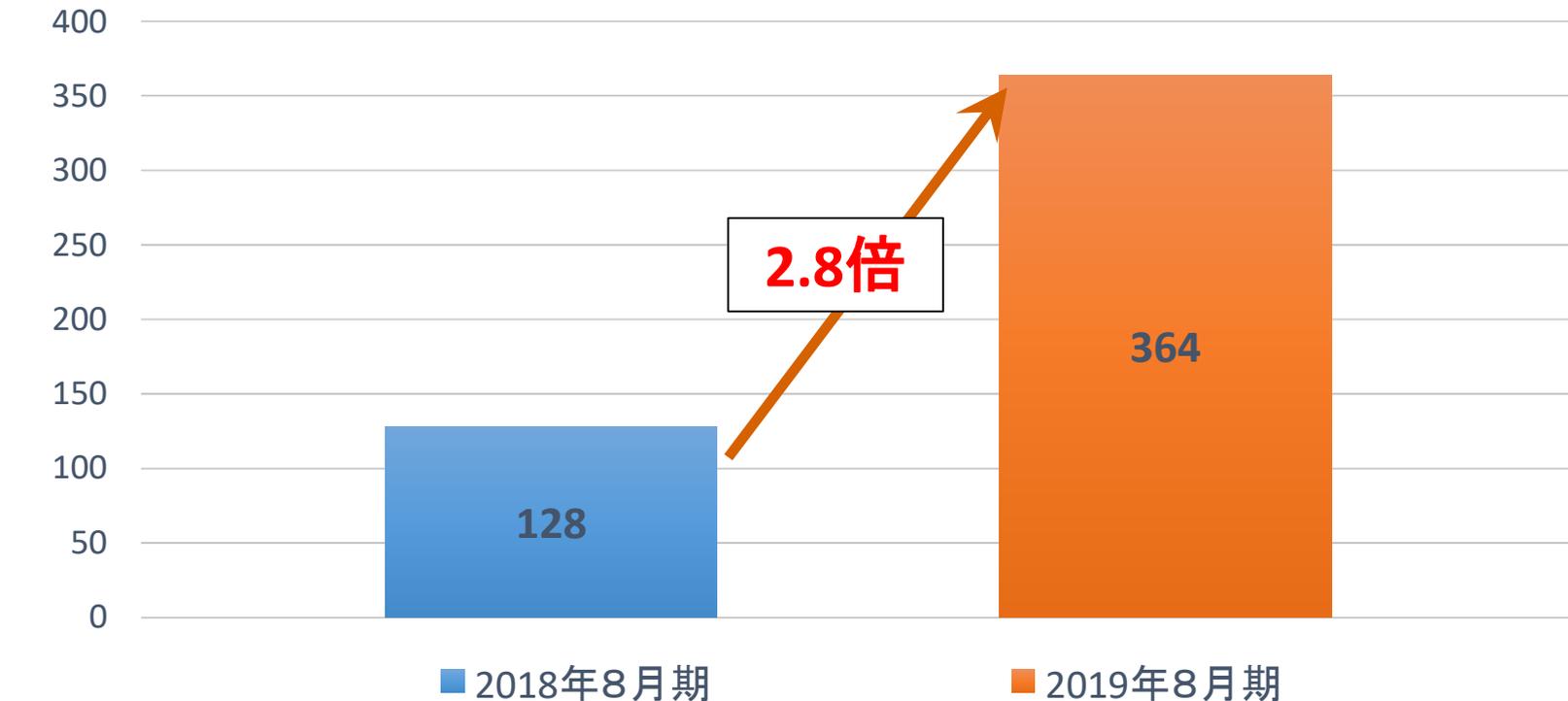
自動車向け※SIRTサービス開始と  
人工知能利用システムの安全開発ガイドラインのサンプル販売

※SIRT(Security Incident Response Team)とは、脆弱性情報を収集、分析を実施する組織

自動運転/先進安全向けシミュレーション技術の売上高が前期比2.8倍になりました。  
受注顧客数も6社から8社へ増加しております。

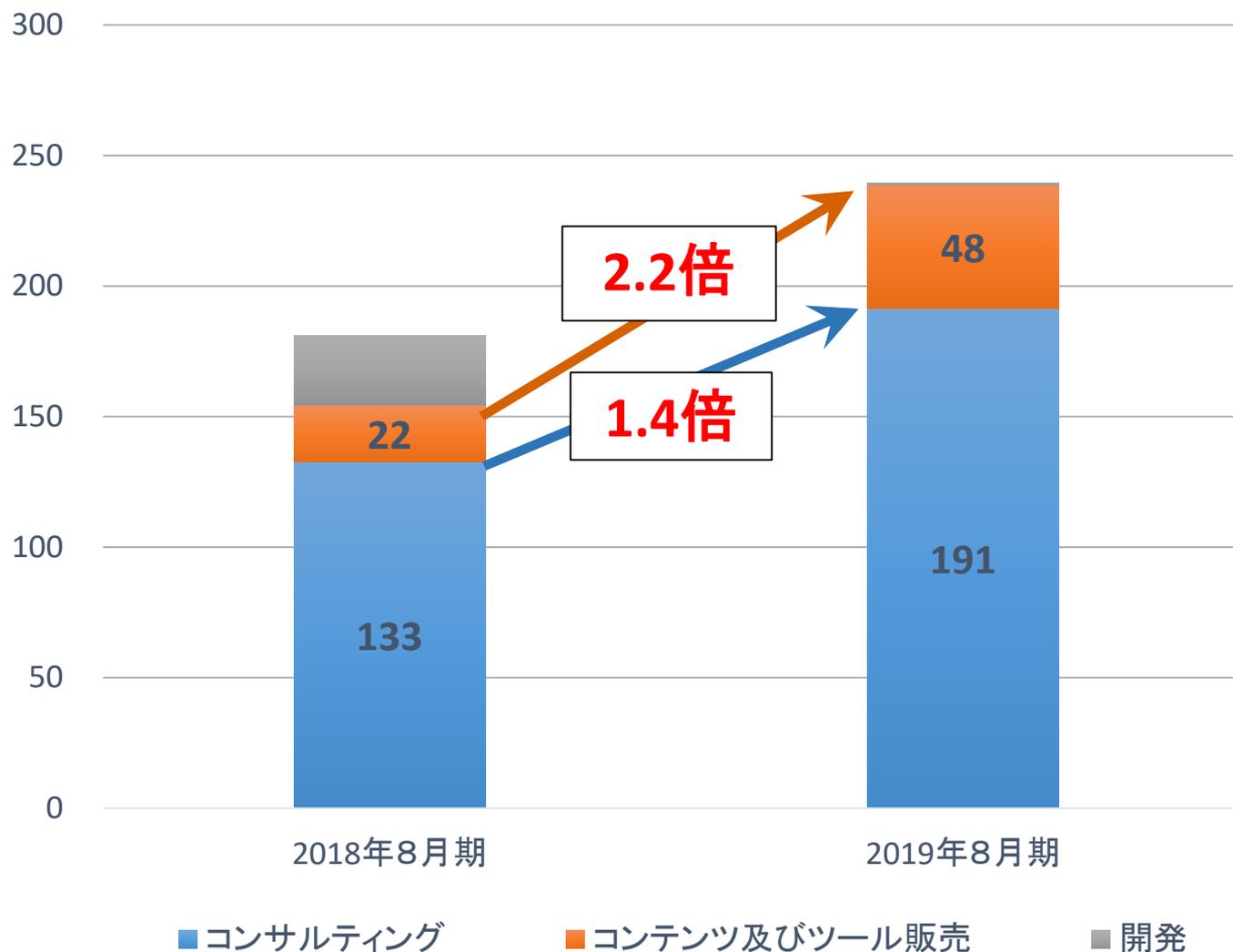
## 自動運転/先進安全向けシミュレーション技術売上高

(百万円)



(百万円)

## 機能安全開発事業 売上内訳



## WITZ Security Support

W-SCS (Witz Security Consultation Service)



analysis

W-SPS (Witz Security Process Service)



規格  
自社プロセス

作成



W-SIRT (Witz Security Incident Response Team)

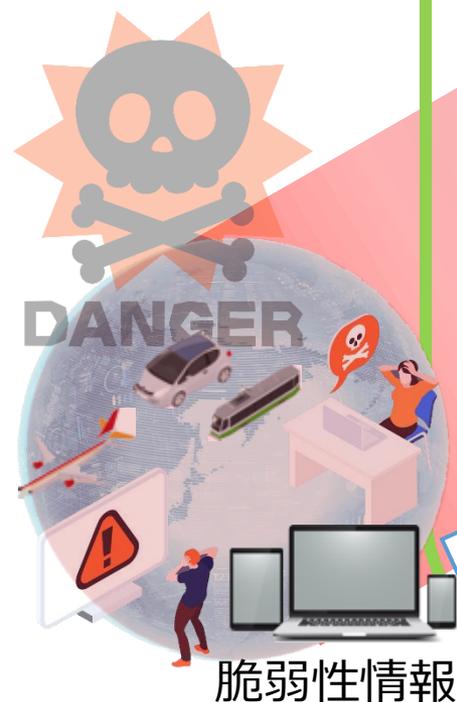


脆弱性情報  
データベース

解析



対策方法の提案

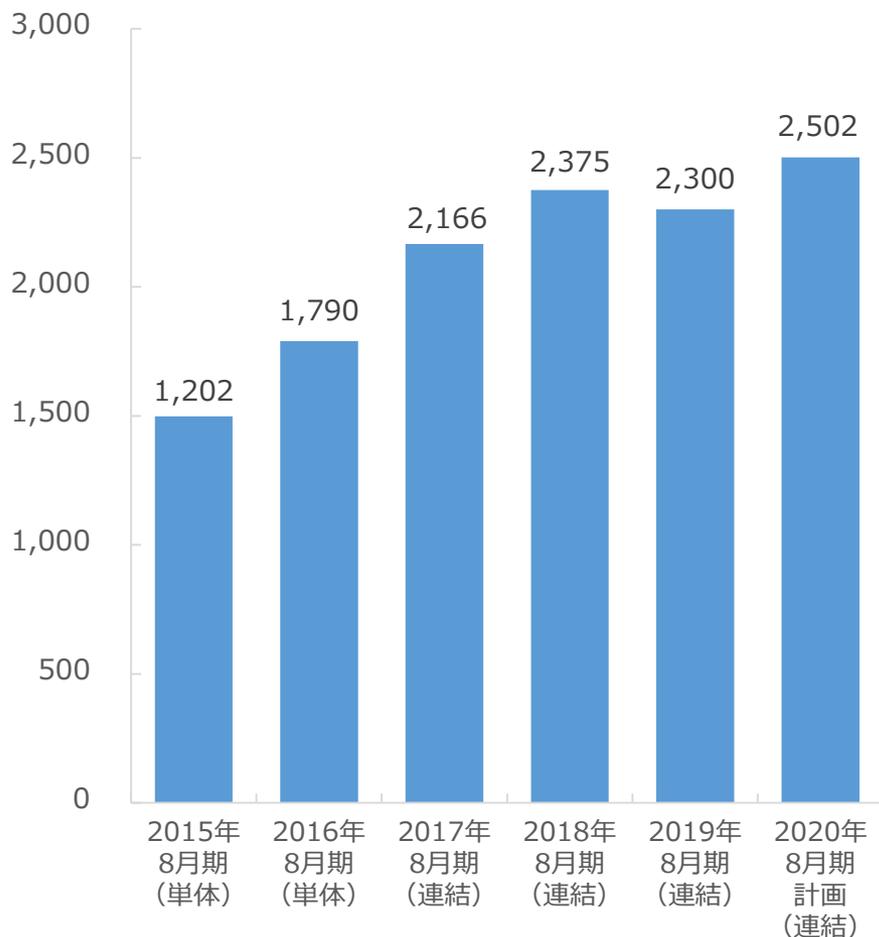


脆弱性情報

## 2020年8月期 業績見通し

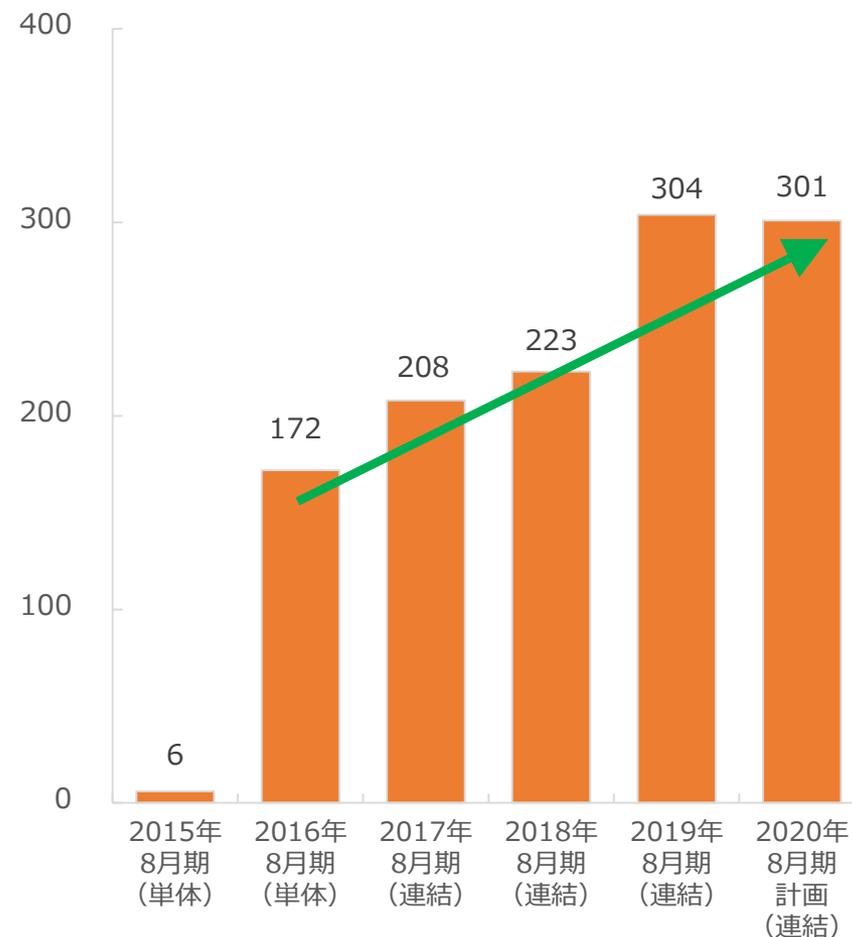
## 売上高の推移

(百万円)



## 経常利益の推移

(百万円)



※2015年8月期及び2016年8月期については「会社計算規則」(平成18年法務省令第13号)の規程に基づき算出した各数値を記載しております。  
また、当該数値については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく仰星監査法人の監査を受けておりません。

# 2020年8月期通期連結業績予想



東証マザーズ  
4440

自動運転/先進安全向けシミュレーション技術、Safety&Securityコンサルティング、人工知能の安全対策技術が大きく伸びる見込みです。

また、MaaS、自動運転技術で将来の成長につなげる計画です。

単位：百万円

	2019年 8月期 (実績)	構成比	2020年 8月期 (予想)	構成比	前期 増減額	前期 増減比
売上高	2,300	100.0%	2,502	100.0%	202	8.8%
営業利益	251	11.0%	330	13.2%	78	31.3%
経常利益	304	13.2%	301	12.0%	△3	△1.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	230	10.0%	193	7.7%	△36	△16.0%

# 2020年8月期通期業績予想（セグメント別売上高）



東証マザーズ  
4440

システムズエンジニアリング事業においては自動運転/先進安全シミュレーション技術のさらなる拡大を計画しております。

単位：百万円

セグメント	2019年 8月期	構成比	2020年 8月期 (予想)	構成比	前期 増減額	前期 増減比
組込システム	1,362	59.2%	1,461	58.4%	98	7.2%
システムズ エンジニアリング	642	27.9%	699	28.0%	57	9.0%
機能安全開発	244	10.6%	263	10.5%	19	7.8%
その他	51	2.2%	78	3.1%	27	52.8%
合計	2,300	100.0%	2,502	100.0%	202	8.8%

※2020年8月期より組織変更を行ったことに伴い、2019年8月期のセグメント別売上高は、セグメント間の組替を行った参考数値を記載しております。

1

自動車セキュリティサポートサービス体制の強化

2

過疎地域移動弱者を支える MaaS 事業立ち上げ

3

退屈な移動時間を楽しみに変えるサービスの提案

※トピックス2,3 は現在事業計画中であり、2020年8月期の業績計画には含めておりません

## WITZ Security Support

W-SCS (Witz Security Consultation Service)



analysis

W-SPS (Witz Security Process Service)



規格  
自社プロセス

作成



W-SIRT (Witz Security Incident Response Team)



脆弱性情報  
データベース

解析



対策方法の提案



脆弱性情報

## 成長戦略

## Mobility as a Service (MaaS) の事業開始

移動サービス x 自動運転 から 安全な未来移動社会を構築



## ムーブ Fun (仮) サービス提案

移動 x コンシェルジュ x エンターテイメント

退屈な移動時間を、遊びながら楽しむ新しいサービスの提案

AIが  
ご案内いたします

なにをして  
楽しめますか？

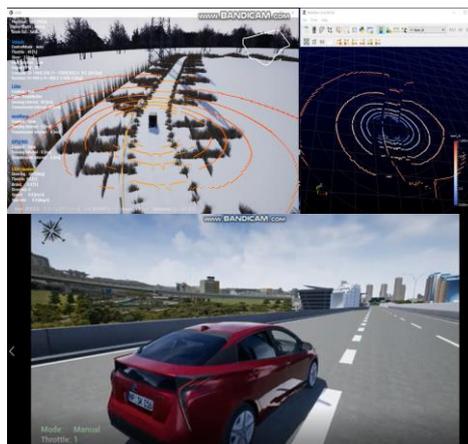


## 研究事業の紹介



雪道での自動運転技術を研究し、  
自動運転の基盤技術を提供する

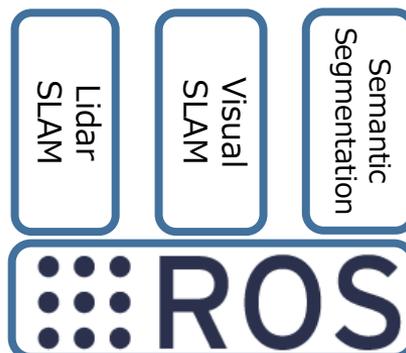
仮想シミュレーション  
による試験環境構築技術



セマンティック  
セグメンテーション技術



深層学習(AI)による  
環境認識技術



AUTOSAR準拠  
自動車向け基盤ソフトウェア





- 自動運転技術の高度化への取り組み

- 中小企業庁 北海道経済産業局 戦略的基盤技術高度化支援事業

- 積雪寒冷地域の交通弱者移動支援のための雪道走行を可能とする自動運転技術の開発

- <http://www.hkd.meti.go.jp/hokig/20170728/index.htm>

- **WARMSS™**

- 「仮想空間技術を活用した、モビリティサービスの開発支援を実現するソリューション群」



画像は**WARMSS™ VE**

## ● 安全・安心の保証のための取り組み

### – SEAMS



- Safety Engineering for Automotive ML-controlled System
- <https://www.seams-p.jp/>
- 自律的自動運転の実現を支える人工知能搭載システムの安全性立証技術の研究開発



株式会社 **ヴィッツ**



名古屋大学

**ArcSystemSolutions**



株式会社  
**アトリエ**

### – TIGARS

- Towards Identifying and closing Gaps in Assurance of autonomous Road vehicleS
- <https://www.adelard.com/all-news/2018/10/22/tigars-uk-japan-project-on-assuring-autonomous-systems-underway/>
- 先進自動運転システムを対象としたアシュアランスケースの実施に関する研究



CITY UNIVERSITY  
LONDON



KANAGAWA UNIVERSITY

### – ISO/SAE 21434

- Road Vehicles - Cybersecurity engineering
- 車載セキュリティに関連したコンサルティング事業

## 配当政策

	2019年8月期	2020年8月期 (予想)
1株当たり配当金	4.00円	4.00円

(注) 2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年8月期の期末に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり配当金を算定しております。

## 【利益配分に関する考え方】

- ①財務基盤の安定化
- ②安定的かつ継続的な配当
- ③内部留保による中長期的投資（研究開発・事業拡大）

# 本資料における注意事項

- 本資料には、将来の見通しに関する内容が含まれておりますが、本資料作成時において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性を含むため、将来の経営成績等の結果を保証するものではありません。
- したがって、実際の結果は、環境の変化などにより、本資料に記載された将来の見通しと大きく異なる可能性があります。
- 上記のリスクの不確実性には、国内外の経営状況や当社グループの関連する業界動向等の要因が含まれますが、これらに限られるものではありません。
- 今後、新しい情報・事象の発生があった場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改定を行う義務を負うものではありません。
- また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適性等を保証するものではありません。